

リニューアル・オープンに向けて

開館20周年記念事業として、現在進められている美術館の増改築工事は、今年10月中旬に竣工し、11月1日にオープンする予定です。リニューアル後の美術館は、いろいろな新しい施設が加わり、新しい企画も試みられます。まず施設では、柳原義達記念館が設けられます。ここには現代の具象彫刻の第一人者である柳原義達氏から寄贈された彫刻作品や素描などが陳列され、展示がより幅広く豊かなものとなります。また、学校からの団体などの方々が、美術についての説明や創作など幅広く利用するための美術体験室、当館所蔵の作品をはじめ、さまざまな美術関係の情報を、パソコンを使って調べたり、ビデオや図書を利用できる美術情報室、小さな子ども達が休んだり遊んだりできるファミリールームが新しく設けられます。さらに講堂、レストラン、ミュージアムショップもこれまでに比べて、場所も移動しますが、広くなり内容も一新されて、魅力的になります。

企画としては、記念展第一弾として、「再会！」と題した三重県立美術館コレクション展を開催します。美術館の所蔵作品の粋を見ていただき、これまで以上に美術に親しんでいただこうということで、主要な作品を選んで展示します。また、1月から県民ギャラリーを会場に、「三重の美術 2004」を開催します。これは県民の方々の作品を公募し、抽選する場合がありますが、無審査で陳列するもので、当美術館としては初めての試みです。同時期に「三重の子どもたち展」、2月から「古代エジプトの美展」も開かれます。美術館外での活動についても、積極的に進めていこうと思っています。県内各地での移動美術館、美術セミナー、今年からはじめた学校美術館など、開館してからも取り組んでいきます。

いずれにしても、リニューアル後の新しい美術館は、これまでも増して県民の方々が、気軽に利用でき、親しんでいただけるために、開かれたものとなるよう心がけていきたいと考えており、現在、開館に向けて準備を進めているところです。(Sm)



増改築完成予想図

